

市場	東証 (マザーズ)	業績 (百万円)	2009/3	2010/3	2011/3(4Q)
上場承認日	2011/ 5/ 20	売上高	728	892	1,013
上場予定日	2011/ 6/ 23	営業利益	136	187	315
主幹事証券	野村証券	経常利益	136	188	314
監査法人	新日本有限責任監査法人	当期利益	134	187	491
URL	<a href="http://www.dmprof.com/">http://www.dmprof.com/</a>	総資産	1,021	1,141	1,659
証券コード	3652	純資産	854	1,041	1,533

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は 2010/3 期)

※2011/3 期の数値は、未監査

- ・ 同社は、ゲーム機・アミューズメント機(パチンコ・パチスロ機)・モバイル通信機器等において、精緻な画像を描写するために用いられる、“グラフィックス IP コア”をライセンス形式や搭載型半導体の形式で提供している。同社はグラフィックス市場では後発組ではあるが、国際標準規格の IP コアに MAESTRO という独自の機能拡張技術を搭載させることで、少ない消費電力での稼働を可能にしており差別化を図っている。主な製品は、グラフィックス IP コアでは「PICA200 シリーズ(現在は、任天堂向けに限定)」や「SMAPH-F」であり、いずれも MAESTRO を搭載している。また LSI として、主にアミューズメント機器向けの「NV7」があり、国内大手半導体メーカー(富士通エレクトロニクス(株)など)に製造委託している。
- ・ 事業は、①ライセンス事業(半導体メーカー等向けのライセンス供与)、②LSI 事業(特定分野向けの LSI を委託製造・販売)、③その他事業(受託開発やセミナー)に分類できる。また、①のライセンスフィーは、供与時に一時的に受け取るライセンス収入と、契約期間を通じ製品出荷個数に応じて受け取るランニングロイヤリティ収入とが存在している。
- ・ 売上構成比では、①6.3 億円(2010/12(3Q):3.1 億円)、②1.9 億円(同 0.6 億円)、③0.5 億円(同 0.1 億円)であり、①が売上全体の 75~80%を占めている。なお、売上高のうち任天堂向けが 6.5 億円と全体の 73%を占めているが、これはニンテンドー3DS 向けのライセンス収入が生じたためである。なお、2010/12 の任天堂向け売上は 0.9 億円まで減少している。
- ・ 同社は任天堂のほか、シャープ(株)と(株)ブルーム・テクノ(LSI 事業における LSI の共同開発先)の 3 社で売上の 90%以上を計上しており、これらの企業の事業動向により業績が大きな影響を受けるものと想定される。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は 2010/3 期)

- ・ 総資産は 11 億円。主に現預金 7.8 億円、営業債権 2.3 億円。委託製造を行っているため、生産設備や在庫もなく、非常にシンプルな構造となっている。なお、2011/3 期は総資産が 16 億円と 5 億円ほど増加しているが、これは、営業 CF からの現預金の積み増し 1.5 億円や、2011/3 期より計上され始めた繰延税金資産 1.8 億円などが主たる要因である。
- ・ 負債は 1 億円。買掛金 0.4 億円、未払金 0.3 億円など。退職給付引当金等の固定負債は計上されていない。
- ・ 粗利率が 73.2%と高くなっている。粗利率は、売上に占めるライセンス事業の構成比率により変動するものと想定され、実際 2011/3 期は 89.4%と急上昇している。なお、営業外損益には、多額に計上されている項目はない。
- ・ C/F では、投資活動 C/F・財務活動 C/F には、投資扱いの定期預金の変動以外は多額の項目は発生しておらず、C/F もシンプルである。営業 C/F では、営業債権の変動が大きな影響を与えており、利益と営業 CF が異なる動きをしている。
- ・ 税務上の繰越欠損金が課税所得ベースで 13.7 億円(2011/3 期末)ほど存在しており、そのうち 9.5 億円相当分には繰延税金資産を認識していない。そのため、今後利益基調が継続していくと当該部分は利益の押し上げ要因となりうる。
- ・ 同社は優先株式を多数発行しており、一株あたり純資産は優先配当を考慮した後の数値で算出してきた。そのため、過去の一株当たり純資産数値はマイナスが継続している。ただし、申請期において優先株式を全て取得・消却しているため、今後はプラス基調となる。経年比較したときに大きな変動が生じているように見えるため、留意が必要。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・ 調達予定資金は 5.7 億円。グラフィックス IP コアと LSI 製品の開発に全額充当する予定(2012/3 期に 2 億円、残額は 2013/3 期)である。
- ・ 従業員は 23 名と小規模となっている。技術者が中心であるためか、年間平均給与は 8.8 百万円と高額。
- ・ 役員も取締役 5 名、監査役 3 名とシンプルである。なお、代表取締役は同社の創業者ではないようである。非常勤監査役が設立時取締役ではあるが、設立時の代表者は現在の経営メンバーには存在しない。第 2 位の大株主(議決権 12.1%)に役員以外の個人が存在しており、創業者とも推察される。
- ・ 株主構成では、VC の比率が高いこと(69.5%)、政策投資銀行が筆頭株主(15.1%)であることが特徴的。逆に経営陣は議決権の 3.4%しか保有していない。IPO 後は、経営陣 2.1%、VC 53.8%、浮動株式 33.0%となる見込であり、不安定な株主構成が継続することが想定される。
- ・ 新株予約権が、IPO 前で発行済株式数の 23.8%発行されており、高い水準であるといえる。予約権は合計 11 回発行しているが、最新の第 11 回以外は、すでに権利行使が可能な状態である。予約権は、経営陣(議決権の 13.4%相当)の他には、従業員を中心に付与している。

© (株)アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: [www.accounting-assist.com](http://www.accounting-assist.com) E-mail: [info@accounting-assist.com](mailto:info@accounting-assist.com)

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。